

報道関係者各位

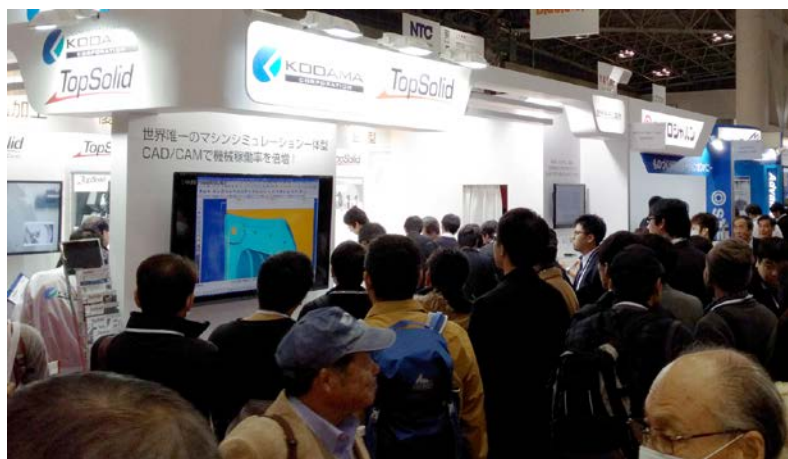
2016年12月20日

コダマコーポレーションが CAD/CAMの新製品 TopSolid'Cam 7.10J を12月20日に発売

～ JIMTOF で大きな反響を呼んだマシンシミュレーション一体型 CAD/CAM ～

国内 4,000 社に CAD/CAM/CAE システムを提供しているコダマコーポレーション株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:小玉博幸)は 12 月 20 日(火)、3 次元ソリッド CAD/CAM システムの新製品である「TopSolid'Cam 7.10J」(トップソリッドカム)を発売致します。

去る 2016 年 11 月に東京ビッグサイトにて開催された第 28 回日本国際工作機械見本市(JIMTOF)に初めて出展しました。ブースでは、マシンシミュレーションの搭載により 5 軸マシニングセンタや複合加工機など最新の工作機械の稼働率を向上させるデモンストレーションを行い、多数の来場者から関心が寄せられました。

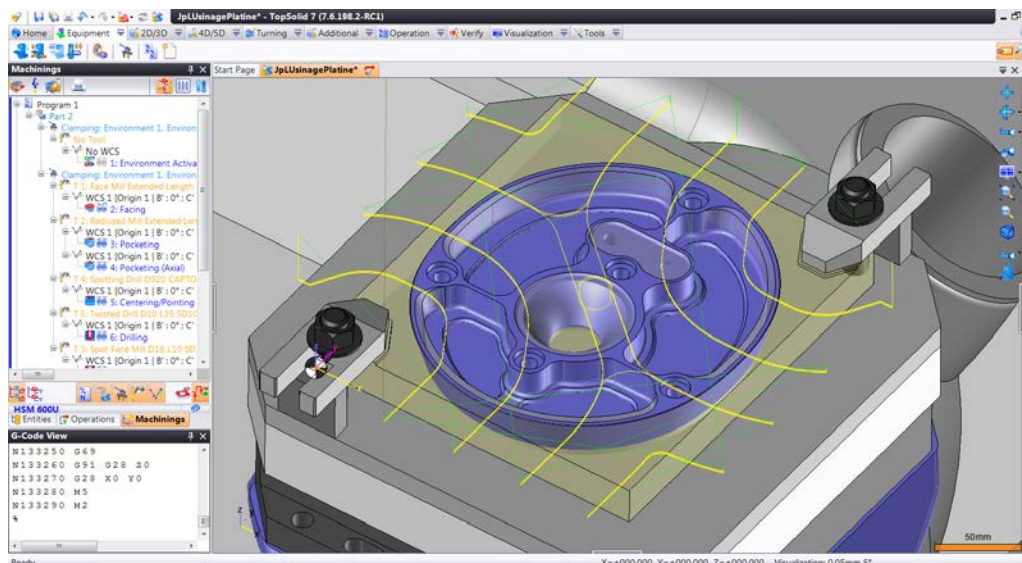


TopSolid'Cam 7.10J はフランスの CAD/CAM ベンダーである Missler Software 社が開発したシステムです。コダマコーポレーションは、Missler Software 社の国内総販売元として開発、販売、サポートを行っています。今回発売する新製品「TopSolid'Cam 7.10J」の特長の内、3 つを以下にご紹介します。

CAD、CAM、マシンシミュレーションの連携

一般的に設計用の CAD と NC データ作成用の CAM は異なるメーカーが開発しています。工場に CAD はなく、治具の設計は設計部門に依頼する必要があります。

TopSolid'Cam は 3 次元 CAD TopSolid'Design 上で動作するため、治具の設計などに CAD 機能をフルに活用でき、工場内で業務を完結できます。また、CAD と CAM のユーザーインターフェースと操作性が同じため、操作を半分の期間で習得できます。



CAD 機能で作成、配置した治具は自動的に避けて加工される

バレルミルとオーバルミルに対応

樽型の工具である「バレルミル」と楕円型の「オーバルミル」を使用できるようになりました。

バレルミルやオーバルミルは、一般的なボールエンドミルと比較して、同じスキヤロップ高さ(加工面のなめらかさ)で切り込み量を大きくでき、加工効率を高めるため、近年注目されている工具です。

バレルミル



オーバルミル



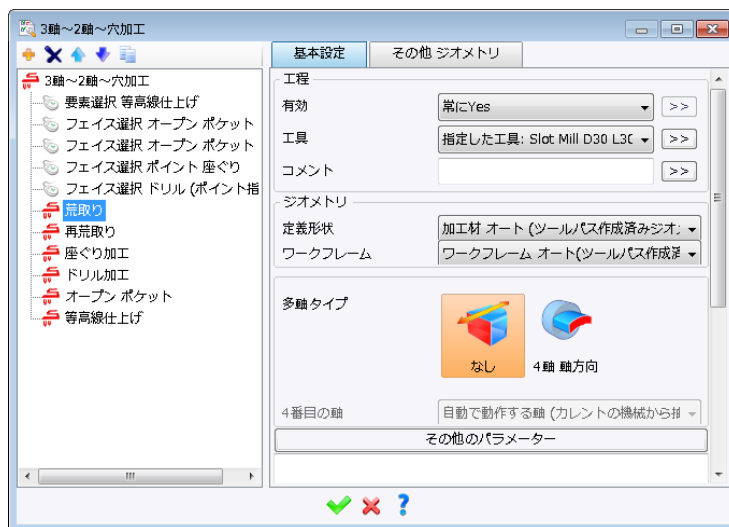
ユーザーの加工ノウハウの蓄積と加工の標準化

ユーザーの加工ノウハウを「メソッド」として登録、蓄積することで、加工の標準化とツールパス(工具の移動経路)の作成の自動化を推進します。

- ・ドリル穴、リーマ穴、タップ穴、座ぐり穴では、穴フィーチャー、加工精度などを認識します。穴径などの条件分岐で固定サイクルを切替えることもできます。
- ・面削り、ポケット、オープンポケットの自動化では、センタ穴、ドリル穴、ポケット 荒取り、ポケット

仕上げというような一連の工程のツールパスを自動で作成します。

- ・ 3 軸、4/5 軸の荒取りから仕上げでは、工具の使用順や切削条件などのパターンを登録できます。



ユーザーが自分の加工ノウハウを登録する「メソッド」の画面

対応している OS Windows 10 Pro、Enterprise、Education (64 bit)
Windows 8、8.1 Pro 以上、Windows 7 Professional SP1 以上

価格 1,500,000 円(税別)～

年間のメンテナンス料金を含まない、ソフトウェアライセンス使用权のみの標準価格です。
TopSolid'Design 7 Standard または Pro、ポストプロセッサ、シミュレーション用環境設定が別途必要です。

お問合せ窓口

コダマコーポレーション株式会社 事業推進室 中條 貴之

TEL 045-949-1331 FAX 045-949-1515 E-mail bizinfo@kodamacorp.co.jp

URL <http://www.kodamacorp.co.jp/>

- * このプレスリリースに記載された会社名、商品名は、各社の商標、または登録商標です。
- * このプレスリリースに記載された情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な後発事象によって変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。